

第1次試行調査の結果の概要について

- 生産者の収穫量データを活用した新たな調査手法への移行に向け、令和7年産において、**回収率や回答可能な調査項目、誤回答の傾向等を把握することを目的として、生産者の収穫に関するデータを試行的に収集。**
- 得られた**回収率等について、令和8年2月10日に公表**（[作物統計調査第1次試行調査（水稲作況）（令和7年9月～11月実施）](#)：農林水産省）。

○調査の概要

経営体に対する郵送・オンライン調査（9,532経営体）

※稲作経営者会議及び日本農業法人協会に所属する1,520経営体（大規模経営体を想定）
既存調査（坪刈り）の対象となっている8,012経営体（中小規模経営体を想定）

○主な調査結果と評価

回収率

大規模経営体 **33.7%**
既存調査対象 44.8%

大規模経営体は想定（回収率4割程度）を若干下回る。

短期間で準備したため周知が不十分であったこと、
経営体に調査票提出の督促を行わなかったこと、が要因

回答状況

作付面積・収穫量 回答率 96.3% **誤回答率 14.7%**
10a当たり収量・被害 回答率 89.0% **誤回答率 10.7%**

主要項目は高い回答率。一方、桁誤り、記入欄誤認等の誤回答も多い。

郵送・オンライン回答のため、**経営体に記載内容の疑義照会が行えなかったこと、調査対象に説明を行っておらず、用語の解説や注釈も不足、**が要因

○令和8年産の第2次試行調査に向けて

回収率向上策

全ての大規模経営体に対し、調査員が説明・回収を実施。
中小規模経営体に対しても、一部調査員による調査を実施
するほか、**郵送による督促（リマインド）を実施。**

誤記入対策

調査員による疑義照会、調査項目や注釈の見直しを行うとともに、**オンライン調査の場合は、オンライン回答時に機械的にエラーチェックを実施。**オンライン調査を促すため、**関係機関に働きかけを実施。**

[ホーム](#) > [統計情報](#) > [分野別分類/作付面積・生産量、家畜の頭数など](#) > [作物統計](#) > [作物統計調査第1次試行調査（水稲作況）（令和7年9月～11月実施）](#)

作物統計調査第1次試行調査（水稲作況）（令和7年9月～11月実施）

令和8年2月

調査の目的

作物統計調査（基幹統計調査）のうち、水稲予想収穫量調査及び収穫量調査（以下「水稲作況調査」という。）について、経営体に対する郵送・オンラインでの調査への移行に向け、調査準備から実査・集計までに至る一連の過程を試行的に実施（以下「試行調査」という。）する。

第1次試行調査は、経営体からどの程度回答が得られるか、どのような調査項目であれば回答可能であるか等を把握し、作物統計調査の調査計画の変更案の検討に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

実施状況

1. 調査の対象

全国稲作経営者会議及び日本農業法人協会に所属する経営体に対する全数調査、令和7年産水稲作況調査の調査対象（水稲作況標本筆において水稲を栽培している者又は水稲作況標本筆を所有している者をいう。以下同じ。）

2. 調査の時期

令和7年9月上旬～11月下旬

3. 調査の基準となる期間

令和7年9月25日現在、10月25日現在、収穫期

4. 調査体制

農林水産省一報告者

5. 調査方法

農林水産省より調査票を郵送で配布し、郵送又はオンラインにより回収する自計調査の方法により実施

6. 調査事項

(1) 9月25日現在

水稲の生産状況（作付けの有無）、使用しているふるい目、水稲作付面積、収穫量、収穫量に含める品位、選別形態、出荷先割合、収量センサー付きコンバインの使用の有無、10a当たり収量及び被害状況の前年産との比較、被害の要因

(2) 10月25日現在

使用しているふるい目、水稲作付面積、収穫量、収穫量に含める品位、選別形態、出荷先割合、収量センサー付きコンバインの使用の有無、10a当たり収量及び被害状況の前年産との比較、被害の要因

(3) 刈取終了時期

水稲の生産状況（作付けの有無）、使用しているふるい目、水稲作付面積、収穫量、収穫量に含める品位、選別形態、出荷先割合、収量センサー付きコンバインの使用の有無、10a当たり収量及び被害状況の前年産との比較、被害の要因

7. 調査の根拠法令

本調査は、統計法（平成19年法律第53号）第19条第1項に基づく総務大臣の承認を受けた一般統計調査である。

8. 調査の結果

(1) 調査票回収率

調査票の回収率（全調査時期（実経営体数））は43.0%となった。

なお、調査票については、9月25日現在の調査の前に全調査時期分の調査票をまとめて送付し、それぞれの調査時期ごとに督促は行っていない。

表1 調査対象数、回収数及び回収率

		調査対象数 (1)	回収数 (2)	回収率 (%) (3) = (2) / (1)
9月25日現在	計	9,532	2,634	27.6
	大規模経営体等	1,520	389	25.6
	調査対象経営体	8,012	2,245	28.0
10月25日現在	計	8,559	1,007	11.8
	大規模経営体等	1,385	155	11.2
	調査対象経営体	7,174	852	11.9
刈取終了後	計	8,304	2,801	33.7
	大規模経営体等	1,378	298	21.6
	調査対象経営体	6,926	2,503	36.1
全調査時期 (実経営体数)	計	9,532	4,103	43.0
	大規模経営体等	1,520	512	33.7
	調査対象経営体	8,012	3,591	44.8

注1 回収数とは回答の正誤を問わず回収ができたものである。

- 2 全調査時期（実経営体数）の回収数、回収率については、9月25日現在、10月25日現在、刈取終了後のいずれかで回答があった経営体数により算出している。
- 3 大規模経営体等とは、全国稲作経営者会議及び日本農業法人協会に所属する経営体である。
- 4 調査対象経営体とは、令和7年産水稻作況調査の調査対象である。
- 5 大規模経営体等と調査対象経営体の調査対象数と回収数については、重複を含めて計上している。

(2) 調査項目の記入状況

調査項目ごとの回答率、誤回答率は次のとおりであった。

表2 調査票項目の回答率、誤回答率（9月25日現在）

	回答数 (経営体等)	回答率 (%)	誤回答数 (経営体等)	誤回答率 (%)
本年の水稻の生産状況について	2,421	94.8	149	5.8
ふるい目について	298	96.8	1	0.3
作付面積、収穫量について	2,459	96.3	453	17.7
品位について	2,076	81.3	704	27.6
出荷先について	2,385	93.4	278	10.9
収量センサー付きコンバインの使用について	2,429	95.1	163	6.4
10a当たり収量及び被害の状況について	2,227	87.2	311	12.2

表3 調査票項目の回答率、誤回答率（10月25日現在）

	回答数 (経営体等)	回答率 (%)	誤回答数 (経営体等)	誤回答率 (%)
本年の水稻の生産状況について	-	-	-	-
ふるい目について	112	94.9	6	5.1

作付面積、収穫量について	896	92.4	169	17.4
品位について	780	80.4	280	28.9
出荷先について	894	92.2	160	16.5
収量センサー付きコンバインの使用について	871	89.8	111	11.4
10a当たり収量及び被害の状況について	833	85.9	143	14.7

表4 調査票項目の回答率、誤回答率（刈取終了後）

	回答数 (経営体等)	回答率 (%)	誤回答数 (経営体等)	誤回答率 (%)
本年の水稻の生産状況について	2,523	92.4	223	8.2
ふるい目について	213	93.8	14	6.2
作付面積、収穫量について	2,664	97.6	299	11.0
品位について	2,444	89.5	538	19.7
出荷先について	2,623	96.1	211	7.7
収量センサー付きコンバインの使用について	2,560	93.8	171	6.3
10a当たり収量及び被害の状況について	2,505	91.8	215	7.9

表5 調査票項目の回答率、誤回答率（合計）

	回答数 (経営体等)	回答率 (%)	誤回答数 (経営体等)	誤回答率 (%)
本年の水稻の生産状況について	4,944	93.6	372	5.9
ふるい目について	623	95.4	21	3.2
作付面積、収穫量について	6,019	96.3	921	14.7
品位について	5,300	84.8	1,522	24.3
出荷先について	5,902	94.4	649	10.4
収量センサー付きコンバインの使用について	5,860	93.7	445	7.1
10a当たり収量及び被害の状況について	5,565	89.0	669	10.7

なお、記入漏れ等の補完が必要な回答は誤回答として集計した。詳細は以下のとおり。

ア 本年の水稻の生産状況について

- (ア) 本年の水稻の生産状況の有無にチェックがない。
- (イ) 「作付けを行った」にチェックがあるが、以降の項目が未入力。
- (ウ) 「作付けを行わなかった」にチェックがあるが、以降の項目に入力がある。

イ ふるい目について

- (ア) 使用しているふるい目が未入力。
- (イ) 使用しているふるい目の範囲が1.65mmから2.15mmの範囲にない。
なお、水稻作況調査の調査対象については、調査票に記入不要と記載しているため（別途、水稻作況調査において把握している）、集計数に含めていない。

ウ 作付面積、収穫量について

- (ア) 作付面積が未入力。
- (イ) 収穫量と10a当たり収量のいずれも未入力。

エ 品位について

使用しているふるい目上の収穫量又は10a当たり収量に入力があるが、品位についてチェックがない。

オ 出荷先について

- (ア) 農協等の調査項目に該当する出荷先に出荷した割合の合計が100%になっていない。
- (イ) 出荷先割合が未入力かつ、出荷していない又は現時点で不明にチェックがない。

カ 収量センサー付きコンバインの使用について
収量コンバインの使用の有無にチェックがない。

キ 10a当たり収量及び被害の状況について
10a当たり収穫及び被害多少、主な被害の要因についての全ての項目にチェックがない。

お問合せ先

大臣官房統計部生産流通消費統計課

担当：普通作物統計班

代表：03-3502-8111（内線3681）

ダイヤルイン：03-6744-2045

公式SNS



関連リンク集

農林水産省
トップページへ

農林水産省

住所：〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

電話：03-3502-8111（代表）[代表番号へのお電話について](#)

法人番号：5000012080001

ご意見・お問い合わせ

アクセス・地図

[サイトマップ](#) [プライバシーポリシー](#) [リンクについて・著作権](#) [免責事項](#) [ウェブアクセシビリティ](#)

[電話リレーサービス（手話リンク）のご利用について](#) [農林水産省チャットボット Maffbot\(マフボット\)](#)

Copyright : Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries